

Weekly コラム

令和5年9月5日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4号館 4階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

抗肥満薬アライ

処方箋がなくても買える国内初の肥満改善薬が3月から薬局で販売されます。その薬は大正製薬の「アライ」(一般名:オリルスタット)で、効果は脂肪の吸収を抑制、容量は1回1錠(1カプセル60mg)で、用法は1日3回食事中か食後1時間以内と決められています。しかし、誰でも服用できる訳ではなく、前提として生活習慣改善と併せて補助的に使用するものとなっており、18歳以上、メタボ基準の腹囲(男性85cm、女性90cm)以上の人が対象です。

アライは既に、米国、欧州など100以上の国でオリルスタット120mgカプセルが医療用薬品として、また同70以上の国でオリルスタット60mgカプセルがOTC(Over The Counter)薬品(薬局・薬品・ドラッグストアなどで処方箋なしに購入できる医薬品)として承認されています。一方、日本国内では、これまで肥満治療薬として存在しているのは、1992年に承認された「サノレックス」(一般名:マジンドール)のみだったこともあり、今年は約30年ぶりに肥満に向けた薬が登場することになります。

一般的に、医療機関で処方されるいわゆるダイエット効果のある薬には、大きく分けて4種類あります。①食欲抑制剤:脳の食欲を司る神経に作用することで、食事の量を抑えてカロリー摂取を減らすことでダイエット効果に繋がる薬。②リパーゼ阻害薬:腸からの脂肪吸収を抑制させて、体重を減らす働きに繋がる薬。③GLP1受容体作動薬:血糖値の上昇を抑える働きのある薬。(注射による投与)④SGLT阻害薬:腎臓でのブドウ糖の再吸収を

抑制し、尿から糖を排出することで体内で吸収される血糖を下げるができる薬。

今回、販売開始が決定したアライは②に該当します。腸内で食べ物を摂取すると、脂肪分解酵素が食物の脂肪分を細かく分解し、細胞に吸収され蓄積することによって脂肪になっていきます。アライを服用することによって、脂肪を分解する脂肪分解酵素の働きが阻害され、脂肪は分解されず大きいままとなります。吸収されなかった脂肪は脂として体外に排出されるというメカニズムです。また副作用としては、食事から摂取した脂質の約30%が便として排出されるという報告もあり、下痢や軟便などの関連症状が出る可能性があります。

ただ、サノレックスが医師による処方箋のもと3ヶ月間の服用に限定されていることに対し、アライは薬剤師が対面で情報提供・指導するという要指導医薬品のもと処方箋は不要、6ヶ月間の服用が認められています。オンラインでの販売はされていないので、薬剤師による指導と管理は必要ですが、国内で医療用医薬品での販売を経ずに、OTC医薬品としてダイレクトに発売されるアライは、安全性の高いダイエット薬として話題になりそうです。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。